

広島アニメーション

だより

広島メディア芸術を発信する情報誌

特集

第1回ひろしま国際平和文化祭閉幕!!
広島と次世代によりそうフェスティバル

「ひろしまミュージックセッション」「ひろしまアニメーションシーズン」を中心に開催された「ひろしま国際平和文化祭(ひろフェス)」が8月28日に閉幕しました。会場や広島の街中あちこちで、参加アーティスト同士やアーティストと市民の交流が繰り広げられました。“平和の種をまき、次世代を育てる”をコンセプトに、音楽とメディア芸術が響き合う初めての試みとなったイベントから、「ひろしまアニメーションシーズン」の様子と成果をご紹介します。

フェスティバルも育っていく。 「ひろしまアニメーションシーズン」は米アカデミー賞公認へ!

コンセプト“平和の種をまき、次世代を育てる”のもと、この夏はじまった「ひろしま国際平和文化祭(ひろフェス)」、手探りしながら新しい試みを実現しようとの気持ちに溢れたものとなりました。今年の経験を活かしてさらに充実させていくこと、フェスティバルも参加者とともに育っていくことが期待されます。

「ひろしまミュージックセッション」では、次世代指揮者コンクールで世界中から集まった若手指揮者たちが競い合うとともに、課題曲の解釈を学ぶ会ワークショップも開催され、交流する場も設けられました。広島という地での学びが、それぞれの国・地域へ持ち帰られることも素晴らしい成果といえます。

「ひろしまアニメーションシーズン」では、ひろしまアーティスト・イン・レジデンス(H-AIR)にイラン、アメリカ、日本から招へいされた3名の作家が横川、鶴見、皆賀で暮らしながら、その地域や公民館、中学校でアニメーションのワークショップを行いました。作家のみなさんが広島からイ

ンスピレーションを得るとともに、広島の人たちもまた貴重な体験を得たことでしょう。本大会を紹介するプレイベントの他、リアル・オンラインで参加できるトークイベントも2回開催され、「文化で街を作る」メディア芸術の街リンツ(オーストリア)の最先端情報、「ひろしまアニメーションシーズン2022の楽しみ方」を知る場も作られました。コンペティションは、環太平洋・アジアコンペティションとワールド・コンペティションの2部門という新しい設定で、欧米の映画祭とは異なる視点・作風の作品が集まりました。グランプリは、ジョルジュ・シュヴィッツゲーベル監督『ダーウィンの手記』が受賞。英国に拉致された原住民3名が故国への帰還途中、ダーウィンに拉致からイギリスでの“教育”の経験を話すという、この映画祭と今の時代にふさわしい受賞作品となりました。9月には、この新しい映画祭が米アカデミー賞公認となる連絡も入ったとのこと。広島で培われてきたアニメーションフェスティバルの土壌をリスペクトしながら、新しい映画祭を育てる試みは始まったばかりです。

第1回ひろしま国際平和文化祭(ひろフェス)閉幕!! 2年後また会いましょう!



【コンセプト】 “平和の種をまき、次世代を育てる” 【第1回テーマ】 “いのち輝く平和芸術、みんな主役。”

【開催期間】 2022年8月1日(月)～8月28日(日)

8月5日(金)～17日(水)「ひろしまミュージックセッション」

8月17日(水)～21日(日)「ひろしまアニメーションシーズン」

広島市内を中心に様々な文化イベントを開催、プロと若手の交流、市民が芸術に触れる機会を創出。

【会場】 JMSアステールプラザ、広島国際会議場フェニックスホールほか

公式サイト ①ひろしま国際平和文化祭 <https://hiroshimafest.org/>

②アニメーションシーズン <https://animation.hiroshimafest.org/>

③ミュージックセッション <https://music.hiroshimafest.org/>



特集2 コロナ禍を超えて～メディア芸術イベントの新しい景色

突然のコロナ禍に直面した1年間を報告した24号(2021年3月発行)、コロナ禍2度目の秋の動向を伝えた26号(2022年1月発行)。この29号でも秋のメディア芸術イベント状況を継続特集します。

3年ぶりのリアル開催が多かったこの秋、リアル開催になったからこそ感じるイベント実感、コロナ禍により当たり前となったリアル・オンラインハイブリッド開催や参加者への配慮等の新しい運営の形など、イベントのありかたを見ていきます。

「フクヤマニメ5」アニメコンペティション、福山城築城400周年記念事業コラボ企画など盛り沢山! まんが工房元気堂BINGO 戸田幸子

2022年10月22日(土)～23日(日)／福山駅前各会場

福山駅周辺商店街や福山城など街ぐるみで行われる大規模アニメイベント・フクヤマニメ。

これからのアニメ業界を担う若者の応援を続ける「もえる!アニメコンペティション フクヤマニメ AWARD2022」(福山駅前シネマモード)は、学生や若手クリエイターなどが応募した1～20分のオリジナル作品から、平野正和氏『涅槃とケバブ』がダイヤモンドグラミネーションを受賞。

バットマンの漫画を描いた麻宮騎亜氏の原画展、羽原信義氏とのトークショーは、映画『バットマン』のゴッサム・シティと福山市の友好都市提携にちなんで、天守を望む野外ステージでのトークショーではアニメ制作現場の苦労話・あるある話に花が咲き、天満屋での原画展ではギャラリートーク&サイン会もあり、作者本人から描いた時のエピソードなど伺いながら見て回るとはファンにもクリエイターにも大変貴重な経験でした。原画展の隣で開催された同人誌交流会は同人誌の他ハンドメイドグッズが多いのも特徴的で、立ち寄る人も多かったようです。

市外・県外からも熱心なファンが訪れ、自作のコスプレ衣装に身を包んだ人達も各会場を回遊し、お城をバックにした撮影や商店街での飲食を楽しむ様子は、ものづくりの街・福山らしい活気ある光景でした。



●フクヤマニメ5公式サイト ⇒ <https://fukuyamanime.jp/>

3日間に拡大! 広島こわい映画祭2022 地域連携強化、参加者みな楽しめるイベントへ 広島こわい映画祭プロデューサー・県立広島大学教授 矢澤 利弘

2022年11月25日(金)～27日(日)／横川ベース、西区民文化センタースタジオ、横川シネマ

広島こわい映画祭は、広い意味での「こわい」をテーマにした映画祭です。従来は1日だけでしたが、5回目にあたる今回は前夜祭を含めて会期を3日間に拡大、開催地である横川との地域連携を強化しました。

新しい試みである前夜祭(地元の三篠公民館と共催)は、ホラー映画の魅力を語る講演会と映画祭参加者の交流会を実施しました。アットホームな雰囲気の中、参加者たちは熱い映画談義に花を咲かせました。公募で全国から集まった100本の作品より選ばれた入選作を上映する映画祭。その1日目(西区民文化センターと共催)は、自主制作映画ファン拡大などを目的とする映像表現促進事業の一環として、非コンペティション部門入選作14本を上映。2日目は、横川シネマでコンペティション部門入選作6作品と招待作品1作品の上映を行い、『有害物質72に関するブリーフィングファイル』(小澤よしき監督)が最優秀賞に選出されました。

5回目という節目を乗り越え、2023年開催予定の次回は、開催時期や運営方法を大幅に変更する予定。SNS等で最新情報を発信していきますのでチャンネル登録やフォローをお願いします!



●広島こわい映画祭2022公式サイト ⇒ <https://www.hirokowa2022.com/>

●公式Twitter ⇒ https://twitter.com/hirokowa_movie

霜降り強い
A5 よりも高級な、
旨味が強く脂が控えめな
BMS6 程の、
ミオグロビン量の多い
BCS4 以上の和牛を
焼肉ふるさと(段原本店、広島駅前店、流川店、西条店、福山店)では
BMS12 の和牛よりも高値で競り落としていきます。



黒毛和牛専門
焼肉ふるさと

神
山
牛

Withコロナの実態 横川ゾンビナイトの現場から 横川ゾンビナイト8開催委員会 栗河 瑞穂

2022年10月28日(金)～29日(土)／横川商店街一帯

今年は2年ぶりの本格的開催。過去2年はコロナ禍での開催であったため、マスクで変身セルフゾンビ!!という形で、ステージ事業も自粛モードだったが、今年は人気のフェイスペイントブース(ゾンビ製作所)も復活し、各所で屋台やステージやフラッシュモブなども繰り広げられ、久々に賑やかな開催となった。沢山のゾンビ様と関われる事は非常にありがたい反面、準備をする運営の本音としては、まあ、大変!!

2年間お休みしていたコンテンツについては「あれ、どうじゃったかいの?」「前、どうしよったかいの」が多々…。音信不通になってしまった方もある。思うように集まってる会議もできない。何を聞いても「忙しい」しか言わない非協力的な方もある。改めて、まだコロナ禍を実感する運営となった。とはいえ、マスクを付けてもゾンビになれる!のはこの事業の強み。コロナ禍と共にゾンビナイトもまだまだ暫く続きそうだ。

●横川ゾンビナイト8公式サイト ⇒ <https://y-zombie.com/>



アニメ好きに言葉の壁はない! ポップカルチャーひろしま2022 コスカレード実行委員会 saki

2022年11月5日(土)～6日(日)／シャレオ中央広場ほか

2017年から毎年開催しているアニソン・コスプレなどによる国際交流イベント「ポップカルチャーひろしま2022」。残念ながら2020年はコロナ禍で中止、2021年はオンライン開催となったが、今年は久しぶりに海外からのゲストコスプレイヤーの招待も復活し、リアルイベントとしての開催を行った。コロナ禍の影響で海外からの旅費が高騰するという予想外の出来事があったが、12の国と地域から合計15チーム(日本在住の外国人を含む30名)の外国人コスプレイヤーを招待し、工夫をこらしたパフォーマンスを紙屋町シャレオ中央広場の特設ステージで披露していただいた。その他にも海外ゲストと地元のコスプレイヤーたちによる本通コスプレパレードや、WEB予選を勝ち抜いた猛者によるアニソンカラオケコンテスト、声優・関智一さんのトークショー、地元アーティストのアニソン音楽ライブ、同人誌即売会などさまざまな催し物を2日間にわたり開催し、アニメや漫画を通じて国境や言葉の壁を超えた交流を行った。

今後も「平和は楽しい」をテーマに、ここ広島でアニメ文化を中心とした国際交流を継続していきたい。

●ポップカルチャーひろしま公式サイト ⇒ <http://www.pophi.jp/>



広島国際映画祭2022 片渕須直監督ティーチインに1000年前を見る HAC 松浦 妙子

2022年11月18日(金)～20日(日)／NTTクレドホール、映像文化ライブラリー、横川シネマ

広島国際映画祭「永久レギュラー」片渕須直監督のティーチインに今年も参加した。制作中の新作について毎年お話される。会場に着くと、映画祭名物フードコートは復活していなかった。満員100席程度のところ新型コロナ対策のため昨年は50席設置だったが、今年は88席(予約限定)になっていた。他プログラムもチケット予約サービスを使うことで配慮されたようだ。

片渕監督作品は、その世界や登場人物に嘘のない存在感がある。新作は『枕草子』を題材に、作者の清少納言と彼女をとりまく人々を描くものとされている。今年は、牛車の中に何人がどういうふうに乗れるのか、車輪直径、車軸幅等を古典籍や発掘調査結果を付き合わせて導き出したことなどを話された。こういった精査が、『枕草子』の卓越したビジュアル性を間違いなく映画に実現するのだろう。ぼんやり想像していただけの平安時代の様相が三次元に見える。

「まだお腹の中にいる(映画の)赤ちゃんを外からさすってもらっているようだ」と参加者との関係を笑顔で話された。参加者も年に一度の同窓会のように集まる。映画祭はそんな温かな場なのだ。いつか生まれる新作が楽しみでならない。

●広島国際映画祭2022公式サイト ⇒ <http://hiff.jp/>



ひろしまアーティスト・イン・レジデンス(H-AIR)報告 ～広島国際映画祭コラボプログラム in 横川シネマ より～ HAC 松浦 妙子

広島国際映画祭の映画祭コラボプログラムとして、ひろしまアニメーションシーズン受賞作品・H-AIR作家作品上映およびトークが行われた。H-AIR作家3人のうち、この時点で在広されていたナタ・メトルークさん(写真左)、マフブーベフ・カライさん(写真右)が登場。ナタさんは、城山中学校の1クラスでアニメーション制作指導した後に全校生徒・先生も参加した作品に広がり文化祭で発表された嬉しい驚きを話し、マフブーベフさんは、ワークショップを行った公民館の人から新鮮な有機栽培野菜をもらうなど交流の温かさを語った。

ナタさんは第2三沢コーポ(鶴見)、マフブーベフさんは横川創荘、是恒さくらさんはミナガルテン(皆賀)に滞在した。アーティストを受け入れる拠点のある大切さ、それぞれの地域での交流が、広島のアニメーション文化を豊かにしていくのだと感じた。

●H-AIR作家レポートはこちら ⇒ <https://animation.hiroshimafest.org/journal/>



◆Event Information

※新型コロナウイルス感染症対策のため、事前の整理券入手、入場時に検温などの体調確認・マスク着用・アルコール消毒等を要請される場合があります。各施設の規定に従って、展示を楽しみましょう。臨時休館や会場変更の可能性もあります。詳しくは各施設のサイトをご覧ください。

●呉ポポロシアター『この世界の(さらにつづもの)片隅に』上映

上映期間:2022年12月30日(金)~2023年1月5日(木)
 会場:呉ポポロシアター(呉市中通3-5-3)
 料金:一般1,800円、学生1,500円
 上映時間:12:20~15:15 休館日:会期中無休
 ※1月5日(木)上映終了後、片瀬須直監督リモート舞台挨拶決定!!
 ※上映時間、料金は呉ポポロシアターTwitterアカウント、Webサイトでご確認ください。
 問合せ:0823-24-6609
<https://twitter.com/kurepopolo1>
<http://popolo1.blog107.fc2.com>

●萩・石見圏域で活躍する人と仕事

「津和野町出身 伝説のアニメーター 大塚 康生」
 会期:2022年12月15日(木)~2023年1月31日(火)
 会場:石見空港ターミナルビル(益田市内田町イ597)1階ロビーショーケース、2階レストランキッチンそらら
 料金:1階ロビーショーケースの展示は無料で見学可能、2階レストランキッチンそららの展示はレストラン利用客を対象
 開館時間:1階ロビーショーケース 8:30~19:15(展示は~19:10)
 ・2階レストランキッチンそらら 9:50~13:30/16:00~17:50
 休館日:会期中無休 問合せ:0856-23-0992
https://hagiwami.jp/iwj_airport_museum2/

●メイドインアビス展~挑む者たちの軌跡~

会期:2023年1月27日(金)~2月13日(月)
 会場:PARCO FACTORY(広島PARCO 本館6F)(広島市中区本通10-1)
 料金:一般1,300円、未就学児無料
 開館時間:10:00~20:00(最終入場は閉場の30分前、最終日は18時閉場)
 休館日:会期中無休 問合せ:082-542-2111
<https://art.parco.jp/hiroshima/detail/?id=1094>

●福山城築城400年記念協賛事業 特別展

「名刀 江雪左文字一江雪斎、家康、頼宣が愛した刀の物語~」
 会期:2023年2月4日(土)~3月19日(日)
 会場:ふくやま美術館(福山市西町二丁目4番3号)
 料金:一般1,000円(800円) 高校生以下無料
 開館時間:9:30~17:00 休館日:月曜 問合せ:084-932-2345
<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-museum/282596.html>

●『組長娘と世話係』最新9巻発売記念 作者つきや先生(広島出身)サイン会

日時:2023年1月22日(日) 14:00~/15:00~
 会場:フタバ図書TSUTAYA TERA広島府中店(イオンモール広島府中3F)
 定員:各回25名(先着申込制)
 申込み:2022年12月28日(水)~2023年1月21日(土)
 詳しくは<https://comichelmo.jp/special/kumichomusume/event/session2022/>

メディア芸術関連 大学・短期大学の卒業制作展

●第26回 広島市立大学 芸術学部 卒業・修了作品展

会期:2023年2月10日(金)~2月14日(火)
 会場:広島市立大学芸術学部棟(広島市安佐南区大塚東3-4-1)
 開館時間:10:00~17:00 問合せ:082-830-1504

●比治山大学短期大学部 美術科

第55回卒業制作展・第21回修了制作展
 会期:2023年2月8日(水)~2月19日(日)
 会場:比治山大学 10号館1・2階、3号館1階ギャラリーH
 開館時間:9:00~17:00 ※2月17日(金)をのぞく
 問合せ:082-221-6246

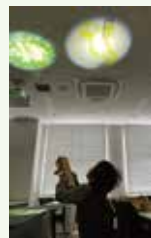
●広島国際学院大学 情報デザイン学科

第16回 卒業研究・卒業制作展「光」
 会期:2023年2月10日(金)~2月12日(日)
 会場:JMSアステールプラザ 市民ギャラリー(広島市中区加古町4-17)
 開館時間:10:00~19:00(最終日は17:00まで)
 問合せ:082-244-8000

サニクリーン×比治山大学「びかぴかアート教室」

ひろしまアニメーションシーズンアカデミー事業の一環として、幻灯機をモチーフにした「びかぴかランタン」で幼児にアニメーションを動かす楽しさを体験してもらうワークショップを開催中!
 実施をご希望の保育園・幼稚園・こども園などは以下からお気軽にお問合せください。

お問合せ 株式会社サニクリーン中国
 フリーダイヤル0120-86-3290





きれいにしたい。あしたのために。

サニクリーンは「レンタル」「リサイクル」などのシステムをとおして、資源の有効活用を目指し、人としぜんやさしいサービスと商品をお届けしています。

フリーダイヤル 0120-86-3290

掃除機、サービス、アストロントローラー、商品、探査衛生用品のレンタル及び販売、ユニフォームのレンタル及び販売、クリーンサービス事業(清掃)、カーソース、アグアサービス

広島新銘菓

生もみじ




にしき堂

発行日:2022年12月28日 発行部数:4500部/発行:広島市市民局文化スポーツ部文化振興課
 編集:NPO法人広島アニメーションシティ(HAC)・松浦妙子・谷口重徳・カワサキマミ/レイアウトデザイン:カワサキマミ/題字デザイン:岡川卓詩(名古屋芸術大学)
 【紙面についてのお問合せ】NPO法人広島アニメーションシティ事務局 〒730-0011広島市中区基町21-3 中国放送会館内
<http://hac.or.jp/> Email : hac-jimu@hac.or.jp

メディア芸術に関する情報やご意見を募集しています